

ニッセイ インターネットアンケート ～「2024年の振り返りと新年への期待」について～

日本生命保険相互会社（社長：清水博）は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ（<https://www.nissay.co.jp>）内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「2024年の振り返りと新年への期待」に関するアンケート調査を実施しました。

《アンケート概要》

- 実施期間：2024年11月1日(金)～11月18日(月)
- 実施方法：インターネットアンケート（「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー）
- 回答者数：13,959名（男性：6,732名、女性：6,899名、その他・無回答：328名）

＜年代別回答者数＞

[名]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	361	785	1,097	2,112	1,611	766	6,732
女性	534	997	1,166	2,030	1,433	739	6,899
合計	895	1,782	2,263	4,142	3,044	1,505	
占率	6.4%	12.8%	16.2%	29.7%	21.8%	10.8%	

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問 1～3

【2024年の振り返り】

- 「今年が良い年だった」と回答した割合は、全体で**44.6%**であった。
- 「2024年に点数をつけるとしたら何点をつけますか？」という質問に対する回答は、**平均 69.8点**となり、**昨年比+1.3点**となった。

ポイント②

質問 4～5

【新年への期待について】

- 「来年は良い年になりそうか」という質問に、30代以下と70代以上で、「はい」と回答した割合が高かった。
- 来年の主な関心事について、「**アメリカ新大統領就任**」と「**2025大阪・関西万博開催**」の2つのトピックに対する回答が多かった。

ポイント③

質問 6～8

【年末年始休暇・冬のボーナスについて】

- 年末年始休暇の予定は「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答した方が**58.7%**となり、**6年連続で最も多**かった。
- 冬のボーナスの平均額は全年代において増加し、全体では**62.6万円**と昨年度と比較して**3.7万円増加**した。

ポイント④

質問 9～10

【2025年問題について】

- 2025年問題は半数以上の方が認知しており、とりわけ**50代以上の認知度が高**かった。また、最も不安に感じていることのうち、「**社会保障費（医療費や介護費）の負担増大**」と回答した方の割合が**53.1%**と高かった。

【2024年の振り返り】

<アンケート結果のポイント>

- 「今年は良い年だった」と回答した割合は、全体で44.6%であった。
- とりわけ良かったことについては、全体では「家族に関すること」と回答した割合が最も高かった。年代別でみると、30代以下は「ライフイベントに関わること」が最も割合が高く、70代以上は「自分自身(健康面など)に関わること」と回答した割合がそれぞれ高かった。
- 今年1年を評価する点数は、平均で69.8点となり、全年代において昨年の平均点を上回った。

質問1 今年あなたはあなたにとって良い年でしたか？ (回答者数：13,217名)

(%)

内容	全体	年代別					
		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
はい	44.6	63.3	56.8	43.2	39.5	40.1	44.5
いいえ	12.3	6.6	9.1	13.8	14.2	12.5	10.9
どちらとも言えない	43.1	30.1	34.0	42.9	46.3	47.4	44.5

30代以下の5割以上が「はい」と回答

質問2 とりわけ、良かったことは何に関わることですか？ (回答者数：7,285名)

(%)

順位	内容	全体	年代別					
			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	家族に関わること	27.2	14.5	28.8	30.8	27.1	28.6	26.9
2	趣味・娯楽に関わること	18.5	22.2	14.1	16.6	20.2	20.6	16.3
3	仕事に関わること	14.7	19.5	15.9	17.7	16.5	11.4	5.4
4	自分自身のこと(健康面など)	12.4	8.8	6.4	8.3	12.1	15.3	27.0
5	ライフイベントに関わること	11.3	22.5	21.4	9.4	7.1	9.7	4.7

年代別にみると、30代以下では「ライフイベントに関わること」、70代以上では「自分自身のこと(健康面など)」と回答した割合が高かった

質問3 ご自身の1年に点数をつけるとしたら、100点満点として何点をつけますか？

(回答者数：13,026名)

(%)

内容	全体	年代別					
		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
100点	6.3	13.1	9.9	6.0	5.1	3.7	7.7
80～99点	27.2	30.7	29.5	25.2	25.7	26.7	30.8
60～79点	39.4	34.4	38.4	39.0	39.1	42.5	38.4
40～59点	19.4	16.5	15.7	20.6	20.9	20.0	17.9
20～39点	4.8	3.3	3.8	5.7	5.6	4.7	3.1
0～19点	2.9	2.0	2.7	3.4	3.5	2.4	2.2

(点)

平均点 (今年)	69.8	74.3	72.6	68.4	68.1	69.1	72.3
	+1.3点	+2.1点	+1.8点	+0.5点	+2.1点	+0.2点	+1.8点
平均点 (昨年)	68.5	72.2	70.8	67.9	66.0	68.9	70.5

全年代において、昨年度の平均点を上回っており、とりわけ20代以下および50代の平均点がともに昨年度より2.1点高かった

【新年への期待について】

<アンケート結果のポイント>

- 「来年は良い年になりそうか」という質問に対し、30代以下と70代以上で、「はい」と回答した方が多かった。
- 来年の主な関心事について、「アメリカ新大統領就任」と「2025 大阪・関西万博開催」と回答した方が23%超えとなった。また、「参議院議員選挙」と回答した方も12.0%と、アメリカ新大統領就任とともに国内外の政治に対する関心の高さが窺える結果となった。

質問4 来年はあなたにとって良い年になりそうですか？ (回答者数：13,104名)
(%)

内容	全体	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
		はい	48.1	65.4	57.7	47.9	43.3
いいえ	4.1	2.1	3.5	4.4	5.3	3.5	3.0
どちらとも言えない	47.9	32.5	38.8	47.7	51.5	53.2	47.1

30代以下と70代以上で
全体平均と比べて
来年への期待が高かった

質問5 来年の主な関心事は何ですか？ (回答者数：12,926名) ※複数回答可
(%)

順位	内容	全体	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
			1	アメリカ新大統領就任	23.9	14.3	22.4	24.3
2	2025大阪・関西万博開催	23.1	27.0	25.0	24.5	22.8	22.2	18.5
3	参議院議員選挙	12.0	9.8	11.3	10.5	10.5	14.2	16.9
4	利上げによる住宅ローンへの影響	9.5	9.3	20.9	14.5	8.8	3.6	1.6
5	阪神・淡路大震災から30年	8.8	9.0	8.9	9.8	8.6	8.2	8.7
6	FIFAワールドカップ2026アジア最終予選	8.7	12.3	9.2	9.9	8.2	8.1	6.5

全体的に関心事項が広範囲にわたる結果となった。とりわけ40~60代においては「アメリカ新大統領就任」への関心、40代以下においては「2025 大阪・関西万博開催」への関心が高かった

<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト 矢嶋 康次やじま やすひでのコメント>



来年の主な関心事としては、全体で「アメリカの大統領就任」が最も多く選ばれましたが、「2025 大阪・関西万博開催」が僅差で2番目となりました。大統領選は金融資産を多く保有する中高年層の関心は高かったのではないのでしょうか。政策の1つである輸入品への関税強化は、日本企業にも影響が出る可能性もあり、来年もその行方が注目されるでしょう。

また来年、日本では20年ぶりとなる万博が大阪・夢洲で開催されます。約161カ国・地域と9つの国際機関が参加表明しており、異文化交流や体験型のイベント等が若者の興味を引いているのかもしれませんが。

さらに、「参議院議員選挙」では60代以上の関心が高い結果となりました。今年は石破内閣が誕生しましたが、衆議院選挙では与党が過半数割れたことも大きなニュースとなりました。来年の参議院選挙では各党がどのような戦略を取るかが注目されることとなるでしょう。

【年末年始・冬のボーナスについて】

＜アンケート結果のポイント＞

- 年末年始休暇の予定は「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答した方が 58.7%となり、6年連続で最も多い結果となった。
- 冬のボーナスの平均額は 62.6 万円と昨年度と比較して 3.7 万増加した。加えて、全年代において平均額が増加した。

質問 6 今年の年末年始休暇は何をして過ごす予定ですか？（回答者数：11,744 名）※複数回答可
(%)

順位	内容	割合
1	自宅・自宅周辺で過ごす	58.7
2	見通しが立っていない	11.7
3	帰省	10.9
4	国内旅行（宿泊あり）	7.3
5	近場のレジャー（日帰り）	3.0
6	海外旅行	2.2

「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答した割合は
6年連続で最も高かった

質問 7 今年の「冬のボーナス」の支給額はいくらでしたか？（いくらのご予定ですか？）
(回答者数：12,640 名) ※複数回答可

	(万)						
	全体	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
平均額	62.6	44.3	53.5	62.4	74.9	52.9	70.3
平均額(昨年)	58.9	36.8	48.3	61.4	71.7	50.3	51.4

全年代で平均額が昨年比、増加

質問 8 「冬のボーナス」は昨年と比べて増えましたか？減りましたか？（回答者数：9,825 名）
＜全体＞ (%)

	増えた	減った	変わらない
全体	13.6	13.8	72.6

＜業種別＞

順位	内容	増えた (%)
1	公務（他に分類されないもの）	33.5
2	農業、林業	25.0
3	教育、学習支援業	22.7
4	電気、ガス、熱供給、水道業	21.2
5	運輸業、郵便業	19.1

順位	内容	減った (%)
1	鉱業、採石業、砂利採取業	27.8
2	金融業、保険業	24.0
3	製造業	19.2
4	情報通信業	16.8
5	複合サービス事業	16.0

昨年度と比較し、冬のボーナスについては変わらないと回答した方が大半を占めた。業種別では、増えた業種と減った業種で二分化された。

【2025年問題について】

<アンケート結果のポイント>

○2025年問題は約半数以上の方が認知しており、50代以上の認知度が高かった。

○2025年問題の中でも最も不安に感じていることのうち、「社会保障費（医療費や介護費）の負担増大」と回答した方が、53.1%と多かった。

質問9 2025年問題(※)を知っていますか？ (回答者数：12,703名)

※団塊世代が後期高齢者となることで起こる社会保障費の負担増や働き手不足などの問題のこと

(%)

内容	全体						
		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
内容を知っている	52.7	42.2	45.8	49.8	53.7	57.6	59.3
内容を知らない	47.3	57.8	54.2	50.2	46.3	42.4	40.7

50代以上を中心に、2025年問題の認知度が高かった

質問10 2025年問題で、最も不安に感じていることは何ですか？ (回答者数：8,564名)

(%)

順位	内容	全体						
			~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
1	社会保障費（医療費や介護費）の負担増大	53.1	49.7	54.8	54.8	51.7	56.5	47.8
2	医療・介護体制の維持の困難化	18.1	14.9	12.5	13.0	18.0	20.1	30.5
3	労働力の不足	17.9	20.8	19.2	20.1	19.9	15.4	11.0
4	経済規模の縮小	6.8	7.1	8.8	8.0	7.2	5.2	5.0

30代~60代を中心に、「社会保障費（医療費や介護費）の負担増大」と回答した方が半数以上であった。年代別では、60代以上においては「医療・介護体制の維持の困難化」、50代以下では「労働力の不足」と回答する方が多かった。

<ニッセイ基礎研究所 チーフエコノミスト 矢嶋 康次やじま やすひでのコメント>

年末年始休暇の過ごし方として「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答する方が最も多いのは例年と変わりませんが、今年は暦の上で9連休となる方も多いことから、昨年より回答は減っています。

冬のボーナスについては、平均支給額は全年代で昨年と比べて増加しているものの、約7割が昨年と変わらないと回答しており、物価上昇に賃上げが追いついていない可能性があります。また増減については業種で二分化しており、増加した運輸業は人手不足による人材獲得のための賃上げを行い、減少した鉱業では足元の素材価格の上昇を反映しきれなかった可能性があります。

さらに、来年は「2025年問題」がいよいよ現実のものとなります。全世代で半数以上がこの問題を認知しており、50代以上は近い将来、医療や介護に直面するため自分事として捉えやすくなったのではないのでしょうか。また、不安に感じることについては人手不足や老後の生活よりも全年代で「社会保障費の負担増大」への不安が半数近いという結果でした。今後、現役世代の人口が減少し、社会保障費が増加していくことに若者も不安を感じているのかもしれない。

以上